



特集

障害児を持つ

親として

中町正明

結婚七年目に初めての男児出産は私達夫婦を有頂天にさせ、五体満足な我が子を見てホッと安堵したものでした。

私達の喜びを見て医者も言いかけた言葉を押えたのを知る由も有りません。一年たつか、たたない或る日、子供が風邪をひいた様子なので近所の医者にみてもらった所、その医者が婦りがけに「チョット子供さんの様子が変なので東京女子医大に紹介状を書きましたので行って見て下さい」との事でした。恐る恐るかけつけた女子医大で初めて「貴男の子供さんは蒙古症です」との予

想だにしなかった残酷な診断に私達は脳天を割られた様なショックを受け帰途につきました。どうして私達だけが世の中の不幸を背おわなければならぬのか、一時は世を恨み、又落ち込んでしまいました。

しかし無邪気に笑う我が子を見てハッとしました。生を受けてこの世に誕生した子供に罪はない、むしろ私達夫婦の宿業ととらえ、何としてでも正常児に近い状態まで成長させる様に私達が頑張って行かねばと決意し、それからは私の信念と努力で、子供の教育と成長に向かい全力投球しまし

ブラウンハイム自治会
昭和59年9月

幹の会長寿の会
9月9日
連合自治会敬老会
9月15日

た。

物事の善悪を理解出来ない子供は行動やしぐさに泣きながら体罰をくわえた事も有ります。

元来私は教育者だった母親の一貫したスパルタ教育に育てられ、子供が成人するまでは親の責任で、その子供に手を掛けられない親は等と、いっばしの理念の引継を受けていた私も障害児をどう育てるのか暗中摸索の毎日でした。

生後三年程してから、やっと歩き出した我が子に喜び又悲しみの連続でした。それは我が子が手に取る物、目に見る物全てに興味を示し、他人様の物であるうとすぐ壊してしまふからです。近所の方々に頭をさげ、こわした物の弁償と謝罪に廻ったものでした。我が子の様な障害児に奇異を感じて、さげすんだ目で見られたり陰口を言われたり無理難題な方々の批判にどれだけ悲しみを経験した事でしょう。しかしその経験が同じ障害を持つ子供さんや親ごさんを良く理解出来る私達に

と成長させ、もらいました。この子を持った由に人間の暖かさ、冷たさ又人生の何かを教えてもらったので

生きる権利を有し、この世に介在する全ての障害を持つ方々とその身内の方にどうか思いやりと理解を持って戴きたい。又人間は必ず老いて行きます。それぞれ老人福祉の問題にも前向きに、しかも理論の先走りがない迅速な対応と思いやりが必要ではないでしょうか。

お蔭様で私の子供も本郷養護高校に進学し、自活できる子供に成長しました。どうか暖かく見守ってやって下さい。

最後に皆様にお願ひしたい事が有ります。煩雑なこの社会の中で交通事故や各種な要素を含んだ現代社会生活の中で、いつ貴方方の家庭に生じるかも知れない可能性充分な障害者・児の問題と貴方が必ず経験する老人福祉の問題は決して他人事ではありません。どうか貴方の人生の一端として受けとめ、それらの方に対しての思いやりと理解と実践で、どうか暖かい協力をお願い致します。

二一〇一〇五
ブラウンハイム在住

民生委・児童委員

三瀬 静江

自治会より推せんされ、厚生大臣の委嘱、横浜市長からの辞令を戴き五十八年十二月一日付で民生・児童委員をお引受け致しました。

私共の任務は老人問題、青少年の非行問題、社会福祉と巾広く持つて居ります。幸いな事にブラウンハイムは、一人暮らし又は生活保護等の方が居りませんので喜んで居りますが、一人暮らしでは無くとも留守番のお年寄の方もいらっしゃるの出来る丈お声を掛けて下さる様に。

青少年の非行問題は、金沢地区が非行のモデル地区になって居ります。それだけ非行青少年が多いと言う事です。民生の例会でいつも課題となつて居りますが仲々難しい問題で、一丁目より三丁目までで十六名の民生委員では思う様に行きません。

これは学校・家庭・地域が一体とならなければ出来る事ではありませんので、地域の皆様自治会の方々のご協力を特によろしくお願い致します。なお証明その他のご用が御座居ましたらいつでもお気軽においで下さい。

二一〇三〇二
七七一四三二

「防犯パトロール中」
八月六日より九月十六日まで防犯パトロールを自治会委員によって実施しています。各家庭でも戸締りなどに気をつけて下さい。
防火防犯部

「幹の会」

会長 鷲田 徳雄

「幹の会」は昭和五十三年八月殆ど時を同じくブラウンハイムに入居した人々がようやく半年の月日を過ぎた頃、有志の提唱と自治会文化部の斡旋を得まして、翌五十四年三月十八日に誕生しましたから今年の三月で満五周年を迎えました。

現在の会員数は二十名ですが、市の老人クラブへの登録は五十名以上となっていますので、市の助成を受けられるのはまだまだ先です。

「幹の会」の例会は月の第一日曜日に開催することになり内定しておりますが発会以来会員の出席率は良好で今までに一度も休会したことはありません。いかに会員の皆様がこの会に関心を寄せておられるかが伺われます。従いまして役員一同も会員皆様のご期待に添え得ますよう会の充実発展に心掛けております。今後共宜しくご協力をお願い申し上げます。

座談会

「幹の会」をお訪ねして
同じ年頃とつき合い
温和な人間関係を

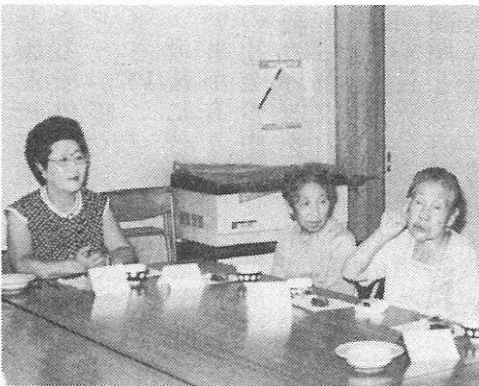


司会 二世帯三世帯同居の
昨今、みなさまの家庭での
生活、幹の会の活動などご意
見を聞かせて下さい。はじ
めに年令と現在住んでいら
っしゃる家族構成、結婚年
数などよろしく。
川村ヒサ子 六六才息子夫
婦と同居、子供四人で孫七
人。主人が亡くなって四年。
鷺田悠子 八十才本日は主
人徳雄八十才と一緒に出席
息子夫婦と同居内孫二人、
同居して六年結婚五十年目。

川村ちえ 七七才息子夫婦
と同居孫五人、三七才で主
人が亡くなり子供五人を育て
てきた。始めから同居です。
湯沢ナツ 七八才息子夫婦
と同居、結婚して六十年主
人を亡して三年。孫は六人
曾孫一人。始めから同居。
司会 湯沢さんのおじいさ
んは初代幹の会長さん。
佐藤あさを 八一才末娘夫
婦と同居孫一二人に曾孫六
人。主人と別れて二八年。
三瀬静江 六十才息子三人
長男夫婦と同居、二世帯と
孫一人他に孫二人、結婚し
て三六年。
藤好秀生 六六才妻と息子
三人家族、空襲の最中結婚
三九年、一男一女で孫なし。
加藤萬吉 七三才次男と同
居結婚四〇年位外孫二人。
司会 ご自分夫婦が世帯さ
れている方はともかく、他
の方は日常の食べ物などは、
静江 どうしても若い人が
料理するので少々あきても
がまんします。
ちえ 今まで私がやってま
したが、近ごろは自分で自
分のものを作っています。
静江 別に作ればいいが、
嫁がいるのでかえって手
出すと邪魔になるのでひか
えています。
ナツ 若い人達は朝早く夜
遅いので、あらかた作って
もらってあと好きなものを。
静江 よくおじいさんがい
る頃は家で油ものなど続く

と食べに行きましたよ。
司会 若夫婦とうまくやる
コツは。
静江 うまくやるには、自
分が下ってるのがいい。
(一同同感とうなずく)
ナツ いやなことは黙る、
二十年同居しているがけん
かはしたことがない。
静江 自分が嫁のときは、
姑につかえたが今はなるべ
く黙っているが、一年に二
度ははくどくなく言うべき
ことを言う。
秀生 私は全く経験がない
が、男親は利害関係がさっ
ぱりしていて食事などがつ
かることが少ないと思う。
徳雄 昨年までは現役でし
たが身体を悪くして仕事を
やめました。これからどう
過ごすか考えています。
司会 男性は会社社会の方
が多く会社から離れると手
持無沙汰になると言われる
方々が、幹の会に参加して
いただきたいです。
萬吉 男の私が毎日料理す
るのがいやになるんです。
(ここで父子家庭の問題
が話し合われた)
司会 お小遣いはどのよう
にされていますか。
ナツ 国民年金でがまんし
ています。
ちえ 子どもが来た時など
置いて行ってくれる。
静江 国民年金は月に三万
円前後、年令、掛金によっ
て違う。六十才でもらえる

が六五才になってからの方
が金額が多くなる。
ヒサ子 私は三万八千円で
す。ずっと掛けていなかっ
たが一括掛けをすすめられ
て掛けました。
ナツ 今の年寄は年金があ
るので子どもにくれと言わ
ないでよだけ老人にも若
夫婦にもいいわけです。
司会 自治会に希望は。
徳雄 自治会で余裕があれ
ば幹の会へ廻していただき
たい。幹の会は月二百円の
会費のみでまかなっている
ので行事があまり出来ない。
静江 自治会の方から補助
があればいい。現在行事ご
とに別途徴集している。
司会 個人的考えですが団
地内の廃品回収金を自治会
の一般会計に入れずに使う
方法はどうでしょう。
秀生 毎年そんな話が出る
が自治会委員が一年交替で
実現しない。
徳雄 他の老人会も自治会



の補助や廃品回収金をもら
っている所が多い。
静江 そうしてもらえば助
かる。
司会 幹の会の行事は。
秀生 毎月例会と役員会、
旅行も他の連合老人会の旅
行に便乗させてもらい割と
安く好評。例会の他に年に
二回位お話を聞く会を持ち
通信紙「おもと」を毎月一
回発行して六四号目です。
静江 敬老会、新年会を他
の場所ですって見たが、そ
ちらまで出て行けず、集會
所が一番と言う意見が多い。
秀生 今年は寒くてやれな
かったが総合公園の花見も
好評だった。
静江 途中会員の方ですが
家に閉じこもり言葉を忘れ
た方が幹の会に入会し言葉
を取り戻し喜ばれました。

司会 これからの社会は老人
人口が増えて行きます。その中
で明るい家庭作りと老後の生
きる楽しみの場に幹の会がな
ってくださることを望みます。
伊藤 自治会として出席し
たが、全体に見て老人会の
福祉の間口が広すぎてこれ
でいいとは言えない。幹の
会がブラウンの老人だけの
集りであることすら知らな
かった私です。住人に幹の
会が浸透してないのではな
いか、これを機会に自治会
から広めたいと思います。
—— 敬称は略させて戴きま
した。座談会では、もっと

多くのお話が聞けました。紙
面の関係で割愛をやむな
くしました。写真は幹の会
のメンバー藤好さんのお世
話になりました。——
「幹の会」はブラウンハ
イム在住の老人会です。
メンバーは今日ご出席の
方々以外にご都合悪く出席
出来なかった次の方達を入
れて現在二十名です。
阿部マサ七才、細けん八四
才、田中スエ八六才、古川英
子六二才、飯田百合子七五才、
森山タキ七四才、飯野昇七一
才、飯野ふみ六六才、根津源
五郎七〇才、根津文子六七才、
山本安彦五七才。
ブラウンハイムには寝た
きり老人の方が五名いらっ
しゃいます。
~~~~~  
編集後記  
~~~~~  
他人事のように思われる
色々な問題は決して人ごと
ではなく私達自身の起り得
る課題です。ご家族・お友
達・仲間の方々と直面する
前に考え話し合って、どう
したらよいか?どうある
べきなのか実践する方法は
と輪を広げて欲しいと思い
まして本号は福祉特集にし
ました。
中町さんご無理なお願い
を聞き入れて下さり有難度
うございました。幹の会お
じゃまいたしました。